

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習Ⅲ (2単位)	3. 科目番号	SJMP3145								
2. 授業担当教員	杉原 由利子										
4. 授業形態	演習、講義、実技	5. 開講学期	秋期								
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」「音楽実践演習Ⅱ」「音楽Ⅲ」を履修済であること										
7. 講義概要	「音楽実践演習Ⅲ」では「音楽Ⅲ」での学びを受け、より実践的な演習を積むことで、幼稚園実習や就職後の保育活動での実践力、指導力を磨く。具体的には、新しい子どもの歌はリズムも和声も難しいものが多いので、それらを理解し、指導する力を養う。保育者としての適切な指導を行えるよう、自身の音楽表現力を磨き、子どもの歌をアレンジし、楽器や身体表現する術を学ぶ。また、歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動を企画実践することで、子どもとともに創作的な或いは即興的な音楽活動が行えるようになる。										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの歌、子どもの発声についての理解を深め、自ら正しく演奏できる。</li> <li>2. 子どもの発達、興味関心、季節等に応じた教材選択ができる。</li> <li>3. 歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動を企画、実践できる。</li> <li>4. 弾き歌いなど保育者としての音楽能力を高める。</li> </ol>										
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回個人の進度に応じたピアノ演奏課題を提示します。 特に、保育者を志望する学生の皆様に対しては、それらの資格に必要なレベルの課題を提示します。</li> <li>2. 第6回、第10回、第15回目の授業で、弾き歌い、無伴奏歌唱、模擬保育の小テストを実施致します。就職後、各現場において子どもたちの前で演奏することに慣れるため、また課題を着実にこなすという目的のために実施します。</li> <li>3. 器楽合奏および簡易楽器の製作などを通し、現場での実践に即した、考える授業づくりのための演習と致します。</li> <li>4. 授業外に弾き歌いの録画データを提出して頂きます(小テストの前週)</li> </ol> <p>※なお、完全な対面授業実施不可能な状況が継続する場合、一部のシラバスを改定する場合があります(その場合は予め周知いたします)</p>										
10. 教科書・参考書・教材	杉原由利子・赤塚太郎『新しい音楽のおさらい』共同音楽出版社 1年から3年まで使用してきた楽譜 他に必要な資料を配布する。										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発声指導に関する知識を身につけ、自らも正しく演奏できるか。</li> <li>2. 子どもの発達、興味関心、季節等に応じた教材選択ができるか。</li> <li>3. 歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動を企画、実践できるか。</li> <li>4. 弾き歌いなど保育者としての音楽能力を高められたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 子どもの発達、興味関心、季節等に応じた教材選択とその演奏発表</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動の企画と実践発表</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 弾き歌いの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4 授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1 子どもの発達、興味関心、季節等に応じた教材選択とその演奏発表	総合点の30%	2 歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動の企画と実践発表	総合点の30%	3 弾き歌いの発表	総合点の20%	4 授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1 子どもの発達、興味関心、季節等に応じた教材選択とその演奏発表	総合点の30%										
2 歌、楽器、身体表現、言葉などを含む総合的な活動の企画と実践発表	総合点の30%										
3 弾き歌いの発表	総合点の20%										
4 授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)	総合点の20%										
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、「音楽Ⅲ」での学びを受け、より実践的な演習を行います。保育現場で取り上げられる音楽は年々多様化しており、ハーモニーやリズムも複雑化する傾向にあります。それらを理論的にも理解した上、現場に即して応用し柔軟に扱えるように、様々な分野の学習を重ねる必要があります。基礎的な楽器の練習は勿論のこと、想像力を働かせ自由な発想を盛り込んだ音楽が表現できるように、一緒に頑張りましょう！弾き歌いはピアノを用いたもの以外に音板打楽器や平易な弦楽器を使用した形態にも挑戦しましょう。履修者の人数により、シラバスの内容を一部変更する場合があります。										
13. オフィスアワー	最初の授業時間の時に通知します										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス/ピアノ習熟度の確認</li> <li>・グループの形成・</li> <li>・個々の課題曲の提示</li> <li>・音楽理論を総括する資料の配布</li> </ul>	事前学習	一年次から使用している、子どもの歌曲集の中から、未習の楽曲を練習する。								
		事後学習	授業での指導の内容を踏まえて提示された課題の練習を進める。								
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの学習</li> <li>・弾き歌いの学習—生活のうた①</li> </ul>	事前学習	課題曲を練習する。								
		事後学習	授業での指導の内容を踏まえて提示された課題の練習を進める。								
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの学習</li> <li>・弾き歌いの学習—生活のうた②</li> </ul>	事前学習	課題曲を練習する。								
		事後学習	弾き歌いの練習をする。								
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの学習</li> <li>弾き歌いの学習—季節のうた①</li> <li>四季を感じる為の学習。季節にちなむ楽曲に多く触れ個々の楽曲の特色を知る</li> </ul>	事前学習	課題曲を練習する。								
		事後学習	弾き歌い発表演奏に向けて課題曲を練習する。								
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの学習</li> </ul>	事前学習	弾き歌い発表演奏に向け課題曲を練習する。								

	・弾き歌いの学習—季節のうた② 四季を感じる為の学習。季節にちなむ楽曲に多く触れ 個々の楽曲の特色を知る	事後学習	リズム打ちをしながら無伴奏歌唱録画を行 い、映像データを提出する。
第6回	・第1回小テスト—リズム打ちをしながらの無伴奏歌唱	事前学習	リズム付き無伴奏歌唱発表演奏に向け、課題 曲を練習する。
		事後学習	小テストでの反省を踏まえ補強の練習を行 う。
第7回	・弾き歌い—手遊びうた① ・アンサンブルの実践（音盤打楽器を中心に）① グループで実践的な保育における合奏を行う	事前学習	前週に予告された課題を練習する。
		事後学習	弾き歌いの録音を行い音源データを提出す る。
第8回	・弾き歌い—手遊びうた② ・アンサンブルの実践（音盤打楽器を中心に）② グループで実践的な保育における合奏を行う	事前学習	課題曲を練習する。
		事後学習	弾き歌い発表演奏に向けて課題曲を練習す る。
第9回	・弾き歌い—園で良く取り上げられる子どものうた① ・アンサンブル演奏を想定したスコアの作成② 園での発表会などを想定した合奏を行う際の楽譜を 作る作業に取り組む	事前学習	弾き歌い発表演奏に向けて課題曲を練習す る。
		事後学習	弾き歌いの録画を行い映像データを提出す る。
第10回	・第2回小テスト—弾き歌い/課題曲をこなす	事前学習	弾き歌い発表演奏に向け課題曲を練習する。
		事後学習	小テストでの反省を踏まえ補強の練習を行 う。
第11回	・弾き歌い—園で良く取り上げられる子どものうた② ・音楽を核にした模擬保育①	事前学習	子どものうたの予習を行う。
		事後学習	実践した内容の振り返りを行う。
第12回	・音楽を核にした模擬保育① —簡易楽器の製作を交えて	事前学習	模擬保育に関するアイデアをまとめる。
		事後学習	弾き歌いの録音を行い音源データを提出す る。
第13回	・音楽を核にした模擬保育② —絵本や紙芝居の読みきかせ、ペーパサートなどの視覚 的ツールを活用した模擬保育を計画し発表する	事前学習	模擬保育に関するアイデアをまとめる。
		事後学習	実践した内容の振り返りを行う。
第14回	・音楽を核にした模擬保育③ —合奏や手遊びといった複数の項目を盛り込んだ模擬 保育を計画し発表する	事前学習	模擬保育に関するアイデアをまとめる。
		事後学習	模擬保育としての弾き歌いの録画を行い映 像データを提出する。
第15回	・第三回小テスト—部分実習を想定した模擬保育の内容 として弾き歌いを実践	事前学習	弾き歌い発表演奏に向け課題曲を練習する。
		事後学習	小テストでの反省を踏まえ、また15回の振 り返りの上、補強の練習を行う。